第 48 回インナーゼミナール大会

研究計画書

 せき名 足立ゼミⅡ	ゼミ名
テーマ群 メンバー 近年、労働市場において、女性の社会進出により男性だけではなく女性の活躍も見られるようになりました。そのような女性の中でも結婚を考えている人、今後子供を作ろうと計画している人、もしくは、子供がいる人等が抱えている最大の悩みがあります。それは、仕事と育児・家事の両です。仕事によって安定した雇用、収入を確保することは大切ですが、れた同様に子供の成長を見届けることも女性にとっては大事なことです。私たちはそんな女性にとって働きやすく子育てにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「青児と仕事の両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「青児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
 	タイトル
研究計画内容 近年、労働市場において、女性の社会進出により男性だけではなく女性の活躍も見られるようになりました。そのような女性の中でも結婚を考えている人、今後子供を作ろうと計画している人、もしくは、子供がいる人等が抱えている最大の悩みがあります。それは、仕事と育児・家事の両立です。仕事によって安定した雇用、収入を確保することは大切ですが、それと同様に子供の成長を見届けることも女性にとっては大事なことです。私たちはそんな女性にとって働きやすく子育てにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「青児と仕事の両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「青児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	テーマ群
の活躍も見られるようになりました。そのような女性の中でも結婚を考えている人、今後子供を作ろうと計画している人、もしくは、子供がいる人等が抱えている最大の悩みがあります。それは、仕事と育児・家事の両式です。仕事によって安定した雇用、収入を確保することは大切ですが、それと同様に子供の成長を見届けることも女性にとっては大事なことです。私たちはそんな女性にとって働きやすく子育てにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「看児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	メンバー
の活躍も見られるようになりました。そのような女性の中でも結婚を考えている人、今後子供を作ろうと計画している人、もしくは、子供がいる人等が抱えている最大の悩みがあります。それは、仕事と育児・家事の両式です。仕事によって安定した雇用、収入を確保することは大切ですが、それと同様に子供の成長を見届けることも女性にとっては大事なことです。私たちはそんな女性にとって働きやすく子育てにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「看児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
ている人、今後子供を作ろうと計画している人、もしくは、子供がいる人等が抱えている最大の悩みがあります。それは、仕事と育児・家事の両式です。仕事によって安定した雇用、収入を確保することは大切ですが、それと同様に子供の成長を見届けることも女性にとっては大事なことです。私たちはそんな女性にとって働きやすく子育てにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「草児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	研究計画内容
等が抱えている最大の悩みがあります。それは、仕事と育児・家事の両式です。仕事によって安定した雇用、収入を確保することは大切ですが、それと同様に子供の成長を見届けることも女性にとっては大事なことです。私たちはそんな女性にとって働きやすく子育でにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育で、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「育児と仕事の両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「育児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
です。仕事によって安定した雇用、収入を確保することは大切ですが、それと同様に子供の成長を見届けることも女性にとっては大事なことです。私たちはそんな女性にとって働きやすく子育てにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「電児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
れと同様に子供の成長を見届けることも女性にとっては大事なことです。 私たちはそんな女性にとって働きやすく子育てにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「利児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
私たちはそんな女性にとって働きやすく子育てにも力を入れることができるライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「利と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
るライフプランを考え提案します。 この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「程児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
この数十年で働く女性は確かに増えました。今では雇用されて働く女性は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「程児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
は約4割を超えてきています。しかし、働く若い女性の実態を見てみると結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「電児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
結婚を機に退職する女性は減っていますが、第1子出産を機に退職する女性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「常児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
性は約5割に上ります。多くの女性が、「子育て、特に乳幼期から学童期と仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「常児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
仕事との両立は難しい」と思っているのが理由です。子供を産む前から「電児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない。	
児と仕事の両立は難しい」と思ってしまうのはなぜでしょうか。その理由はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
はそのようなイメージを世の中が抱いてしまっているからでしょう。その要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
要因の1つとして、働く女性が増えている一方で、保育所が足りていない	
という現状があります。「育児休暇は保育所探しに翻弄した」「空きがなく	
て保育所が確保できず困っているという女性の声が多いです。また、保育	
所の利用時間にも限りがあるため、育児休暇明けの復帰後は時短で働くち	
性も多く、業務を限られた時間内で行うには大変です。このような問題を	
抱える子育てママたちのために、私たちは今回の研究で女性の就業状況を	
あらゆる視点から分析し、保育施設や政策状況から現状を把握します。ま	
た、女性の社会進出により貢献できるような解決策を提案します。	